自立活動流れ図

|  |  |
| --- | --- |
| 学部・学年 |  |
| 障害の種類・程度や状態等 |  |

|  |
| --- |
| 1. 障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ、課題等についての情報収集
 |
| 実態把握の視　点 | □学習面（聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する等）　　　　　　　　　　　　　□運動面（粗大運動、微細運動等）□社会性（コミュニケーション、人との関わり、自制、意思決定、自己理解等□その他（興味関心、身辺自立、注意、多動性、衝動性、感覚の偏りなど） |
| 興味・関心、よさ | 課　題  |
|  |  |

|  |
| --- |
| 1. -１収集した情報（①）を自立活動の６区分の視点で整理する段階
	* ①の実態を６区分で整理し、①で取りこぼした実態があれば、追加する。
 |
| 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
|  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 1. -２収集した情報（①）を学習上又は生活上の困難や、これまでの学習状況の視点から整理する段階
 |
|  |

|  |
| --- |
| 1. -３収集した情報（①）を○○年後の姿から整理する段階
 |
|  |
| 1. ①をもとに②-1、②-2、②-3で整理した情報から課題を抽出する段階
 |
|  |

|  |
| --- |
| 1. ③で整理した課題同士がどのように関連しているかを整理し、中心的な課題を導き出す段階
 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 課題同士の関係を整理する中で今指導すべき目標として | 1. ④に基づき設定した指導目標を記す段階
 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 指導目標を達成するために必要な項目の選定 | 1. ⑤を達成するために必要な項目を選定する段階
 |
| 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
| 　　　　　 | 　　　　 |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 1. 項目と項目を関連付ける際のポイント
 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 選定した項目を関連付けて具体的な指導内容を設定 | 1. 具体的な指導内容を設定する段階
 |
| ア | イ | ウ　  | エ  |

1. 授業計画の作成（指導場面：だれが、いつどのように）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 自立活動の時間 | 各教科等の指導（教育活動全体） | 左以外の時間 |
|  |  | この項目は参考例です。児童生徒の実態に応じて設定してください。 |